

日 時 2014 年 06 月 10 日 火曜日 17:30~19:30

場 所 建築学会会議室

出席者

石川	Skype	石橋		伊積		国松	○	志村		富田	記録
濱本	○	藤橋		増田		松本	○	峯村		横島	
横山	○	野口								益田	

敬称略

審議議題

第 3 3 回環境振動シンポジウムの素案

資料

環境振動シンポジウム関係リスト (国松主査代理)

審議

昨年度の第 32 回のさらに進んだ形とする。

→評価指針は、居住者の評価と物理量の反応を示す。評価指針に時間軸がどのように入るか。

→設計指針は、伝達関数として、建物の評価を行えるようにする。

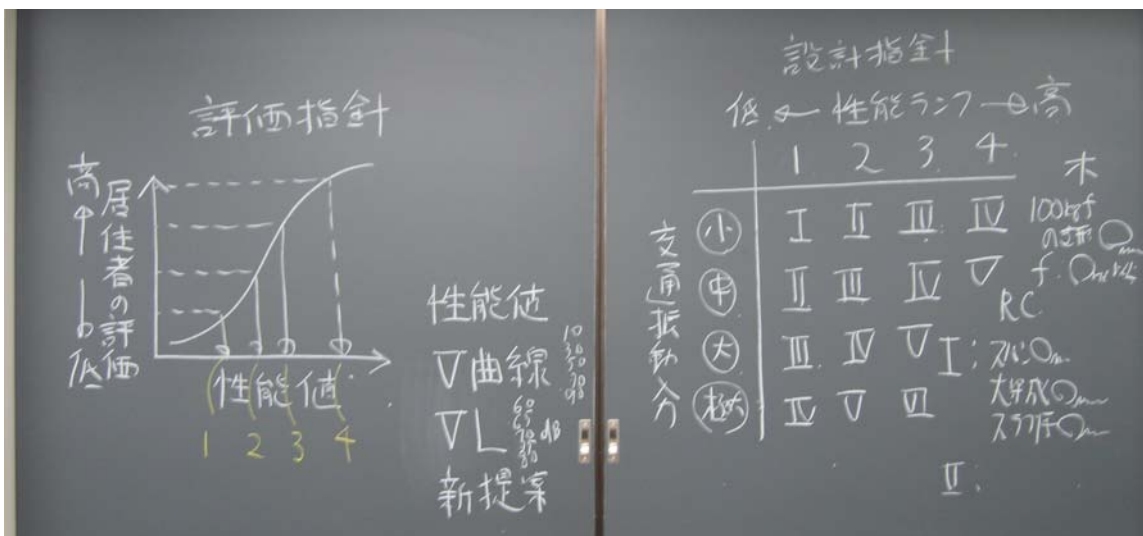
→今回は評価と設計を分離することが大きなテーマ。

→今回は設計指針にどのように評価指針を活用していくか。

→評価側から性能値として、V 曲線、VL、新提案などを提示し、それを設計指針でケーススタディしてみる。

→建物の性能と仕様の部分は、実務者をお呼びする。

タイトル案としては、「新しい居住性能評価指針と設計指針の枠組み」



以上